

# 不正ログインによる被害に遭わないために

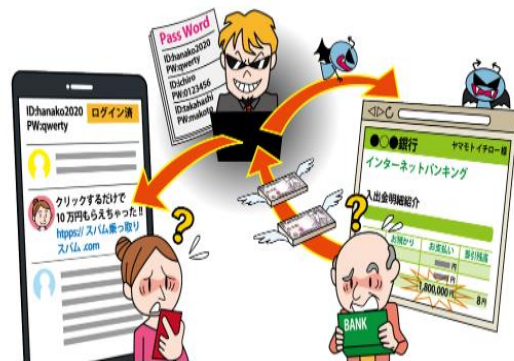
企業や組織が利用又は提供しているインターネットサービスに対して不正ログインが行われ、顧客情報やサービス利用者の個人情報が盗まれたり、不正に操作されたりする被害が発生しています。また、個人の利用者でも、不正ログインにより、財産や個人情報が盗まれる被害が発生しています。

特に、別のサービスと同一のIDやパスワードを使いまわす利用者を狙った、パスワードリスト攻撃による不正ログインの場合、不正に入手されたIDとパスワードでログインされるため、そのアクセスが、利用権者による正規のアクセスなのか、第三者による不正アクセスなのか判断することは難しく、知らぬ間に被害が拡大してしまうおそれがあります。

## ○ 攻撃手口

### ● パスワードリスト攻撃

- ・ 何らかの方法で入手した認証情報(アカウント)をリスト化し、それを利用して複数のサービスへのログインを試みる攻撃で、複数のサービスでパスワードを使いまわしている場合、1つの認証情報(IDとパスワード)が漏えいすると他のサービスに不正ログインされるおそれがある。
- ・ 二要素認証等のセキュリティ機能を利用している場合、不正ログインされる危険性は減少する。



(出典 IPA 独立行政法人情報処理推進機構)

### ● パスワード推測攻撃

利用者が使いそうなパスワードを推測して不正ログインを試みる攻撃で、名前や誕生日などをパスワードに使用していると推測されやすくなる。また、SNS等で公開している情報から推測される場合もある。

### ● ウイルス感染

悪意あるウェブサイトやメール等によりウイルス感染させ、感染した端末で入力したパスワード等を盗む。

## 対策

### ● アカウントの適切な管理

パスワードリスト攻撃やパスワード推測攻撃への対策として、パスワードの使い回しはせず、利用する各サービスのアカウントごとに、長く複雑なパスワードを設定する。

また、利用頻度が低いサービスや不要なサービスのアカウントは削除する。

### ● 添付ファイルやリンク先を不用意に開かない

犯罪者は、パソコンをマルウェアに感染させたり、フィッシングサイトに誘導して、名前や生年月日などの個人情報、IDやパスワードなどの認証情報(アカウント)、クレジットカード番号やセキュリティコードなどのクレジットカード情報を収集しようとするので、添付ファイルやリンク先を不用意に開かない。

### ● ウイルス対策の徹底

OS、ソフトウェア及びウイルス対策ソフトは、常にアップデートし、最新の状態を保つ。

### ● パスワード管理ソフトの利用

利用するサービスの増加に伴い、各サービスごとのアカウントの管理が煩雑だと感じる場合は、パスワード管理ソフトの利用も検討する。

【参考】 IPA 独立行政法人情報処理推進機構 情報セキュリティ 10 大脅威 2021

【組織編】 <https://www.ipa.go.jp/files/000089239.pdf>

【個人編】 <https://www.ipa.go.jp/files/000089480.pdf>



岩手県警察本部サイバー犯罪対策課の公式ツイッターはQRコードから！！サイバー空間を悪用した犯罪の手口やサイバー犯罪の被害に遭わないための情報をお知らせしています。

岩手県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課  
令和3年9月17日発行



@Iwate\_cyber